熊本市立白山小学校　学校便り

うるとら白山

令和７年４月９日（木）
Ｎｏ．１
文責：藤本

どうぞよろしくお願いいたします

４月から新しく白山小学校長になりました、藤本 裕人（ふじもと ひろと）です。

初任校は荒尾市で、その後天草市（本渡）、熊本市内の小学校・市立幼稚園・教育委員会、等に勤めました。どうぞ、１年間、よろしくお願いいたします。

なぜ、「うるとら」なのか？

ウルトラ（ｕｌｔｒａ） には、「超・・・」という、力強さを感じさせる意味が含まれています。無限の可能性を秘める名の下で、白山小の子どもたちの活躍をそのままに、この学校便りに載せることができればと思っております。私が担任をしていたときも、ずっと「うるとら」の名で、便りを発行していました。私が、あの永遠のヒーロー『ウルトラマン』に、少し似ているという理由もあります・・・。

始業式の話　校長から、次のような話をしました。

〇校長先生の好きなもの
- 焼き鳥・回転寿司屋・フェス・バスケットボール・サッカー・バレーボール・バドミントンなど。
- 新しい友達に、ぜひ「好きなもの」聴いてくださいね。
- 一つお願い。聴くときは、しっかりうなずいてください。「いいねぇ」と言ってあげてくださいね。そうすれば、話した方もうれしいし、お互いに話したくなりますよ。「聴き上手」はとっても大事。

〇それぞれの新しい学年のみなさんに、一言ずつ、お話をします。
- ２年生。１年間で、自分でできることが増えたね。自立っていうんだよ。新しい１年生が入ってくるから、もう、お兄さんお姉さんですね。２年生では、友達と一緒にできることを増やしてください。手伝ったり、助けたり、協力したりすることだよ。
- ３年生。自分からやってみる学びが増えたんだね。１年生を招待したおもちゃランド、いろいろ工夫したんだってね。３年生では、新しい教科も増えます。いろんな学びに、自分から、どんどんチャレンジしてくださいね。
- ４年生。もう３年間過ごしました。堂々とした学校の一員、地域の一員ですね。味噌のことなど、いっぱい地域から学んだそうですね。すごい。４年生では、地域のこと、もっと深く、本格的に探究してみてください。そこから、学校生活・家庭の生活をよりよくしていくことを考えてみてくださいね。１年後は、誇れる高学年になりますよ。
- ５年生。これまで４年生に話してきたようなことをしっかりと乗り越えた上学年の皆さん。頼もしいです。福祉のことも学んで、相手のことを考える、他者理解を深めましたね。５年生では、いろいろな学習の中で、自分の立ち位置が、学校の中・地域の中・熊本九州日本の中・世界の中の自分となるかもしれません。学校の外に出ていく学習、水俣・集団宿泊教室、楽しみですね、広い世界・大自然を学んでください。
- ６年生。さっき５年生に話した「集団宿泊」、立派に経験してきたのですね。それから委員会や清掃活動など、学校内の仕事もいくつもできた。仕事ができるということは、相当周りのことや周りの人たちのことが見えているということです。仲間意識も高まっています。あなたたちの、この５年間はすごい。６年生の皆さんには、校長先生が一番言いたいことを言います。どうか、友達との思いや考えのずれや違っているところを一番大切にして、お互いにしっかりと聴き合って、学びを、体験を、深めてください。その日々の学びを広げて、「修学旅行」、思い出深いものにしてください。運動会などの行事で、思う存分、みんなを引っ張って、そして輝いてください。そして何より、下の学年のみんなを、いっぱい守ってください。６年生の皆さんが一番の頼りです。

〇最後に、学者のアインシュタインの言葉を紹介します。人生には二通りの生き方しかない。
一つは、奇跡など何も起こらないと思って生きること。
もう一つは、あらゆるものが奇跡だと思って生きること。

今日の始業式、それぞれの学年の皆さんが、これまで長い時間を過ごして、今、こうやってみんなで集合していること、残念ながら、今日、体の具合がよくない、などで、お家でこの時間を迎えていること、先生方お一人お一人も、これまでいろんな時間を過ごしきて、今、この場にいること、これらすべてが一緒になって、今日、４月９日を迎えたこと、これを奇跡だと思うならば、奇跡はうれしいものです、奇跡の続き・奇跡の連続として、今日のスタート、そして明日からの新しい日々を「わくわく」「ちょっとどきどき」もあるけど「いっぱいわくわく」と思っていいのではないでしょうか。みなさんの「わくわく」がいっぱい生まれることを願っています。校長先生も、いっぱい「わくわく」したいと思います。